

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
絵本の魅力 Picture books and young children		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
高橋登美子		講義棟3階	火・水・金（授業時間を除く）	授業中に指示します
授業の概要				
絵本に出会い、絵本によって育まれる子どもの心について考える。絵本の読み聞かせの配慮や工夫についても考えることで、子に絵本を与える時の留意点にも目を向けていく。それぞれが「絵本」の素晴らしさを感じる。				
授業の目標				
①たくさんの絵本と出会うようにする。 ②絵本の特徴や内容を捉えた読み聞かせをすることができるようにする。 ③絵本の紹介ポスターを丁寧に仕上げることをできるようにする。 ④素話の取り入れ方を考え、丁寧な言葉と表現で素話をするようにする。				
授業の方法				
授業には必ず絵本を持参する。絵本記録を各自が作成して、自分が選んだ絵本、他の学生が選んだ絵本について記録をする。絵本の読み聞かせは楽しい雰囲気の中で行う。絵本を紹介するポスター製作に取り組む。素話では、素話の持つ「言葉を聞かせる」良い面を捉えた演じ手になる努力をする。				
学習の成果（学習成果）				
たくさんの絵本を知り、絵本の世界に入り込み、作者の想い、絵画担当者の想いなど、その絵本の特徴や良さを述べることで、絵本に込められた想いう配慮した読み聞かせや素話をするができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスの説明、授業の目指すもの、絵本の記録作成）			
第2回目	持参した絵本の読み聞かせをする（絵本に資する想い、絵本の内容に関する意見交換）			
第3回目	絵本を読み、作者の想いを考察する（絵本記録への記入）			
第4回目	絵本を読み、画家の想いを考察する（絵本記録への記入）			
第5回目	絵本を読み、読み聞かせの配慮と留意点を考察する（絵本記録への記入）			
第6回目	絵本の紹介ポスターを製作する（1）～絵本を選ぶ（画用紙、折り紙、色鉛筆などを用意する）			

第7回目	絵本の紹介ポスターを製作する（２）～ポスター製作（画用紙、折り紙、色鉛筆などを用意する）	
第8回目	絵本の紹介ポスターを製作する（３）～ポスター製作と工夫（画用紙、折り紙、色鉛筆などを用意する）	
第9回目	絵本の紹介ポスターを製作する（４）～ポスターを仕上げ発表する	
第10回目	素話について（素話とは、素話の活用について）～絵本記録への記入	
第11回目	即興素話に取り組む～与えられた題に対して自分自身でイメージを膨らませながら語り手になる	
第12回目	素話のための絵本や題材を選定する～自分自身でイメージを膨らませながら語り手になる	
第13回目	場面に適した絵本について考え調査する（絵本記録への記入）	
第14回目	子どもにとっての絵本を考察する（絵本記録への記入）	
第15回目	それぞれが感じる、想う「絵本の魅力」を語り合う（絵本記録の確認）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	絵本を持参して授業に臨んでいる。絵本記録に必要なこと（題名、作者名、あらすじ、特徴等）が丁寧に記入されている。
レポート		
調査報告書	30%	絵本の紹介ポスターの製作を丁寧に仕上げる事ができている。
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	30%	原作の意図を読み取り表現し、聞き手の創造力を膨らませる素話をする事ができる。
その他		
教科書と参考図書		
特になし		
履修上の留意点・ルール		
各自、好きな絵本を持参する。図書館の絵本も活用していただきたい。絵本の魅力に触れる時間を楽しむことを期待する。製作に必要な教材は各自で用意・持参する。		